みずほマーケット・トピック（2023 年 4 月 28 日）

内容　1．為替相場の動向　　2．来週の注目材料
※誠に恐れ入りますが、「3．本日のトピック」はお休みさせて頂きます。

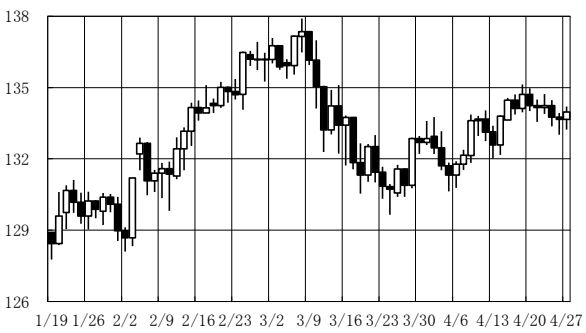
1．為替相場の動向（関連レポート：「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」）

- 今週のドル/円相場は、金融システム不安の再燃を背景に下落も、その後堅調な米経済指標を受けほぼ往って来いとなった。週初24日、133.97円でオープンしたドル/円は、ドル買い相場の中、134円台半ばへ上昇。海外時間は植田日銀総裁の金融緩和維持を示唆する発言が材料視され、一時週高値となる134.72円に続伸も、その後は軟調な米経済指標を受けた米金利低下も相まって134円台前半に値を戻した。25日、ドル/円は材料に欠ける中、134円台前半でレンジ推移。海外時間は、米中堅銀の期待外れな決算内容を受け金融システム不安が再燃、米金利低下とともに133円台半ばに下落した。26日、ドル/円は133円台後半で揉み合い。海外時間は、リスクオフ地合いの中、米金利低下に追従し133円台半ばをじり安推移。米3月耐久財受注（速報）が堅調な結果となると一時134円を目指し上昇も、リスクオフムードの中で米金利は続落、一時週安値となる133.01円まで下押した。引けにかけてはドルの戻り買いで133円台後半へ往って来いとなった。27日、ドル/円は米金利上昇に合わせ133円台後半でじり高推移。海外時間は、一時133円台前半に反落も、米1～3月期コア個人消費支出デフレーター（速報）が市場予想を上回る伸びを見せ、一時134円台前半まで反転上昇した。本日のドル/円は、日銀金融政策決定会合の発表を控え、134円を挟んだボラタイルな取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、米独金利差縮小を受け上昇し、年初来高値を更新した。週初24日、1.0992でオープンしたユーロ/ドルは、独4月IFO企業景況感指数の強い結果を受け独金利は上昇、1.10台半ばへ上昇した。25日、ユーロ/ドルは、金融不安が再燃する中で独金利は急落し、一時週安値となる1.0965に反落した。26日、ユーロ/ドルは独5月GfK消費者信頼感が市場予想を上回ったことがユーロ買いに繋がり、13か月ぶりの高値となる1.1096に上昇した。引けにかけては米金利の反転上昇で1.10台前半に値を戻した。27日、ユーロ/ドルは米インフレ指標の強い結果を受け米金利が上げ幅を拡げたことで一時1.10を割り込んだ。本日のユーロ/ドルは、ドル買いの一服を背景に1.10台前半での取引となっている。

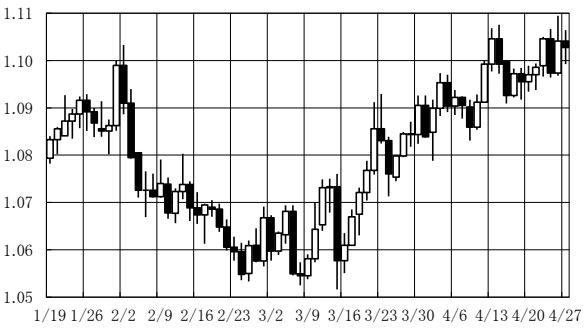
今週のおもな金融市場動向（出所：ブルームバーグ、みずほ銀行）

		前週末	今週			
		4/21(Fri)	4/24(Mon)	4/25(Tue)	4/26(Wed)	4/27(Thu)
ドル/円	東京9:00	134.00	133.97	134.08	133.70	133.44
	High	134.49	134.72	134.47	133.94	134.20
	Low	133.55	133.89	133.36	133.01	133.20
	NY 17:00	134.13	134.26	133.71	133.69	134.01
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0967	1.0992	1.1058	1.0979	1.1043
	High	1.0993	1.1050	1.1068	1.1096	1.1063
	Low	1.0938	1.0966	1.0965	1.0960	1.0992
	NY 17:00	1.0989	1.1047	1.0975	1.1039	1.1029
ユーロ/円	東京9:00	147.00	147.14	148.30	146.75	147.42
	High	147.56	148.47	148.63	147.90	147.99
	Low	146.45	147.12	146.33	146.48	147.15
	NY 17:00	147.36	148.30	146.75	147.60	147.66
日経平均株価		28,564.37	28,593.52	28,620.07	28,416.47	28,457.68
TOPIX		2,035.06	2,037.34	2,042.15	2,023.90	2,032.51
NYダウ工業株30種平均		33,808.96	33,875.40	33,530.83	33,301.87	33,826.16
NASDAQ		12,072.46	12,037.20	11,799.16	11,854.35	12,142.24
日本10年債		0.46%	0.47%	0.47%	0.46%	0.46%
米国10年債		3.57%	3.49%	3.40%	3.44%	3.53%
原油価格(WTI)		77.87	78.76	77.07	74.30	74.76
金(NY)		1,990.50	1,999.80	2,004.50	1,996.00	1,999.00

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

・ 米国では、5 月 2 日（火）～3 日（水）に FOMC が開催される。3 月会合では+25bp の利上げを実施。声明文では、「利上げの継続が適切」との表現が「幾分かの利上げがおそらく必要になる」に変わった。必要とされる利上げの度合いが小さくなっているのだろう。パウエル FRB 議長は会見で、「想定より高い水準への利上げが必要ならそうする」と述べ、インフレ抑制のためなら利上げ継続を厭わない姿勢を示した。また、「年内利下げはベースケースではない」とし、年内の利下げを否定。注目を集める金融不安に関し、5 月会合に先立ち公表されたベージュブックでは信用収縮こそ多くの地区で報告されたものの、実体経済への明確な悪影響は特段言及がなかった。かかる中、4 月中旬以降堅調な米経済指標を背景に利上げ織り込みは回復基調にあり、今回会合でも+25bp の利上げが広く予想されている。

・ 欧州では、5 月 4 日（木）に ECB 政策理事会が開催される。3 月会合では預金ファシリティ金利を+50bp 引き上げた。金融不安を背景に 3～4 名のスタッフは決定に反対したようだが、状況が明らかになるまで時間をとるべきとの意見だった。事実、声明文の書き出しは「あまりに高く、あまりに長くインフレが見込まれるため、+50bp の利上げを決めた」だった。また、今後の利上げに関するガイダンスが削除されたことに関し、ラガルド ECB 総裁は「インフレの基調的な要素が上がり続ける限りインフレとの戦いを止めることは無い」と説明。議事要旨においてもコアインフレの高まりを警戒する姿勢が示されており、利上げ継続が基本線。ただし、ECB が商業用不動産（CRE）市場に関しシステミックリスクを指摘するなど警鐘を鳴らしていることから、5 月会合では利上げ幅が+25bp に縮小される可能性が高いと推察される。

	本　　邦	海　　外
4 月 28 日（金）	・3 月失業率/有効求人倍率 ・4 月東京消費者物価指数 ・3 月鉱工業生産（速報） ・植田日銀総裁会見	・ユーロ圏 1～3 月期 GDP（速報） ・米 3 月個人所得/支出 ・米 3 月個人消費支出デフレーター ・米 4 月ミシガン大学消費者マインド（確報）
5 月 1 日（月）	・4 月製造業 PMI（確報）	・米 4 月製造業 PMI（確報） ・米 4 月 ISM 製造業景気指数
2 日（火）	――――――――――	・ユーロ圏 4 月製造業 PMI（確報） ・ユーロ圏 4 月消費者物価指数（速報） ・米 3 月 JOLT 求人件数 ・米 FOMC（3 日まで）
3 日（水）	――――――――――	・ユーロ圏 3 月失業率 ・米 4 月非製造業 PMI（確報） ・米 4 月 ISM 非製造業景気指数
4 日（木）	――――――――――	・ユーロ圏 4 月非製造業 PMI（確報） ・ユーロ圏 ECB 政策理事会 ・米 3 月貿易収支
5 日（金）	――――――――――	・米 4 月雇用統計

【当面の主要行事日程（2023 年 5 月～）】

FOMC（5 月 2～3 日、6 月 13～14 日、7 月 25～26 日）
ECB 政策理事会（5 月 4 日、6 月 15 日、7 月 27 日）
日銀金融政策決定会合（6 月 15～16 日、7 月 27～28 日、9 月 21～22 日）

市場営業部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔（TEL：03-3242-7065）
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html （Archives） http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版（インバウンドの現状と展望～量、質ともに復調しつつあるインバウンド需要～）
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2023年3月分）
2023年4月14日	週末版（FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見通しへの影響はあるか？～）
2023年4月12日	変わる直接投資とスローバリゼーション（slowbalization）
2023年4月11日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月10日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月7日	週末版（日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～）
2023年4月6日	次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～
2023年4月4日	日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～
2023年4月3日	ユーロ圏3月消費者物価指数（HICP）の読み方
2023年3月31日	週末版
2023年3月30日	第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～
2023年3月28日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月24日	週末版（鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～）
2023年3月23日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月22日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月17日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～
	週末版
2023年3月16日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月15日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2023年2月分）
	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月13日	SVB破綻、ドル/円相場見通しへの影響
2023年3月10日	週末版（1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～）
2023年3月8日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月7日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月6日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年3月3日	週末版（賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～）
2023年2月28日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月27日	植田総裁候補の所信聴取を受けて
2023年2月24日	週末版
2023年2月21日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月20日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月17日	週末版（本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～）
2023年2月15日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2023年1月分）
	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～理想から現実へ～
2023年2月10日	週末版
2023年2月9日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～
2023年2月8日	2022年の国際収支統計を受けて～意外な伏兵～
2023年2月7日	日本はドイツに追い抜かれてしまうのか～何が違うのか～
2023年2月6日	IMF見通し上昇修正と為替見通しの関係について
2023年2月3日	週末版(ECB政策理事会を終えて～顕著に改善するユーロ相場の取引環境～）
2023年2月2日	FOMCを終えて～ドル/円見通しに影響なし～
2023年1月30日	23年、最初の1か月を終えて～言うほど進まないドル安～
2023年1月27日	週末版（当面のECBの金融政策運営の考え方～「追い風」を得てタカ派に持続性～）
2023年1月25日	神風に救われたユーロ圏経済～最悪からの復活？～
2023年1月24日	「投機の円買い」vs.「実需の円売り」の行方
2023年1月23日	日銀タカ派とFRBハト派の併存は可能なのか？
2023年1月20日	週末版（史上最大の貿易赤字をどう捉えるか～輸入増加の次は輸出減少に？～）
2023年1月19日	日銀政策決定会合を受けて～現状維持とも言い切れず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2022年12月分）
2023年1月18日	懸念されるユーロ圏のインフレ～コアは加速中～
2023年1月16日	日銀は本当に動くのか？～当面の展開を整理～
2023年1月13日	週末版（依然残る日本の閉鎖性～入国規制とインバウンド需要～）
2023年1月10日	米12月雇用統計を受けて～無理筋なハト派解釈～
2023年1月6日	週末版
2023年1月5日	FOMC議事要旨を受けて～23年利下げへの支持はゼロ～
2023年1月4日	2023年展望の「重要な前提」と「パス」のおさらい
2022年12月23日	週末版（史上最大の円安の年を終えて～円高を「押し目」とする視座～）
2022年12月21日	日銀の政策修正関する論点整理～日銀Pivot～
2022年12月20日	米インフレ急減速を当然視する風潮は大丈夫なのか
2022年12月19日	円安で注目したい対内直接投資のポテンシャル
2022年12月16日	週末版（ECB政策理事会を終えて～「ターミナルレート3%」では不十分というメッセージ～）
2022年12月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2022年11月分）
	FOMCを終えて～PCEピークアウトと利上げ停止時期～
2022年12月14日	米11月CPIを受けて～円相場に対する見方は不変～
2022年12月13日	23年、ドル/円相場のメインシナリオとリスクの要約
2022年12月12日	インバウンド復活は2023年春以降のテーマに
2022年12月9日	週末版
2022年12月6日	ECB政策理事会プレビュー～2つの注目点～
2022年12月5日	「日本人の円売り」は一過性の懸念で終わるのか？
2022年12月2日	週末版（135円台で考える「安い日本」～名目円高では解決しない根深い問題～）
2022年12月1日	まだ警戒が必要なユーロ圏のインフレ情勢
2022年11月29日	ECB議事要旨を受けて～開き始めたFRBとの差～
2022年11月28日	FOMC議事要旨を受けて～利上げ幅縮小に新味なし～
2022年11月25日	週末版
2022年11月24日	投機ポジションで見るドル・円・ユーロの概況
2022年11月22日	消費増税以上の威力を示した40年ぶりのCPI
2022年11月21日	最高難度の局面に挑むECB～多様な「不況下の物価高」～
2022年11月18日	週末版（本邦7～9月期GDPを受けて～購買力の悪化は悲惨な状況～）
2022年11月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2022年10月分）
2022年11月16日	FRBは今、何を考えているか？～蘇る平均インフレ目標～
2022年11月15日	実質ベースで考えるドル/円相場のオーバーシュート
2022年11月14日	ユーロ相場の現状と展望～金利・需給面の整理～
2022年11月11日	週末版（2022年度上半期の経常収支状況を受けて～所得収支の還流が最後の手札～）